7.2. 著者

7.2.1. 著者名

和文著者名は、英文題目から 1 行あけて、次の書式で記載して下さい（英文原稿は除く）。

フォントサイズ： 9 ポイント
和文フォント： 明朝体またはこれに準じるフォント
数字・欧文フォント：Time New Roman またはこれに準じるフォント

配置： 左寄せ
姓名の区切（和名）：半角空白
著者間の区切： 「・」（中丸）

ただし、英文表記の著者名が含まれる場合は、その著者名は姓、名の順で、姓は全て大文字、名は最初の文字のみを大文字として、姓名の区切にはカンマと半角空白とを入れて下さい。

著者の所属機関を示すために各著者名の右肩に数字（半角上付、通し番号）を、著者が複数の場合には講演者を示すためにその著者名の右肩に「*」印（半角上付）を、それぞれ付して下さい。

英文著者名は、和文著者名から 1 行（行間隔または改行幅：11 ポイント）あけて、次の書式で記載して下さい。

フォントサイズ： 9 ポイント
数字・欧文フォント：Time New Roman またはこれに準じるフォント

配置： 左寄せ
著者名： 姓、名の順、姓は全て大文字、名は最初の文字のみを大文字

姓名の区切： カンマと半角空白
著者間の区切： カンマと半角空白

また、所属機関、講演者を示すための数字、印も、和文著者名と同様に付して下さい。

7.2.2. 著者所属機関

各著者の所属機関とその住所を、英文著者名の後に半角のコマとスペースをはさみ、次の書式で記載して下さい。

フォントサイズ： 9 ポイント
フォントスタイル： 斜体（イタリック）
フォント：Time New Roman 体またはこれに準じるフォント
番号： 半角上付

英文著者名と所属機関、およびその住所が 2 行以上とならないよう、詳細な部署、社名の「株式会社」等は、適宜省略願います。ただし、略記はお避け下さい。

7.3. 講演概要（Abstract）

著者名、著者所属機関から 1 行あけて、次の書式で記載して下さい。

フォントサイズ： 8 ポイント
フォント：Time New Roman, またはこれに準じるフォント
Word count : less than 150 words

7.4. Key words

関連するキーワードを最大 5 つ、以下の書式で記載して下さい。

フォントサイズ： 9 ポイント
フォント：Time New Roman, またはこれに準じるフォント

7.5. 本文

Key Words から 1.5~2 行あけて、2 段組で本文を記載して下さい。

段組：2 段 段の幅：86 mm
間隔または段間：6 mm

7.5.1. 見出し

見出しはポイントシステムにしたがい、

1. ...
1.1. ...
1.1.1. ...

のようにして、次の書式で記載して下さい。

フォントサイズ： 9 ポイント
和文フォント：ゴシックまたはこれに準じるフォント
数字・欧文フォント：Arial 体またはこれに準じるフォント
文字間隔または字間：標準（Word）、1 ポイント（一太郎）
配置：左寄せ

7.5.2. 見出し後の文

見出し後は、見出しの次の行から、以下の書式で記載して下さい。

フォントサイズ： 9 ポイント
和文フォント：明朝体またはこれに準じるフォント
数字・欧文フォント：Time New Roman またはこれに準じるフォント

文字間隔または字間：狭く 0.2 ポイント（Word）、または、-0.6 ポイント（一太郎）
配置：両端揃え

7.6. 図表

図表名、および図表中の単語、文章は英文とします。通し番号を付して（図：Fig. 1, Fig. 2, …, 表：Table 1, Table 2, …），図の場合にはその下に、表の場合にはその上に、次の例のように図表名を記載して下さい。

例：Fig. 1 Schematic of the computational domain.

図表の配置は、なるべく本文と同様に 2 段組として、本文との対応に配慮して下さい。また、本文とは 1 行以上あけるようにして下さい。図表（写真）を原稿に貼付する場合には、輸送中、印刷作業中に剥落しないよう十分御注意下さい。

7.7 文献

本文中の引用箇所では[1]のように通し番号で示し、本文末尾に通し番号とともに、対応する文献を次のように列挙して下さい（配置：左寄せ）。

1. 著者 1・著者 2・著者 3, 日本燃焼学会誌 55: 101-111 (2013).
2. Author1, A., Author2, B. and Author3, C., Proc. Combust. Inst. 34: 1001-1008 (2013).
3. 著者名, 雑誌名 巻数: 掲載ページ (発刊年)
11. 著者 1・著者 2・著者 3, 第 51 回燃焼シンポジウム講演論文集, pp.201-202 (2013).
12. Author1, A., Author2, B. and Author3, C., Proc. 9th ASPACC, pp.501-504 (2013).
13. 著者名, 書名, 掲載ページ (発刊年).

8. 原稿の提出

原稿の提出は、1) PDF ファイルを投稿ページ上で提出するか、2) ハードコピー及び図を貼り込んだファイルの両方を郵送または宅配便で提出して頂くか、のどちらかの方法をお願いします。以下のウェブページの注意を良く読んで、間違いの無いようにしてください。なお PDF ファイル作成時にはフォントを埋め込んでください。

<http://www.combustionsociety.jp/sympo52/>

締切：2014 年（平成 26 年）9 月 19 日（金）（必着）

電子投稿： <http://www.combustionsociety.jp/sympo52/>

郵送宛先：〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1

岡山大学大学院自然科学研究科産業創成工学専攻
富田研究室 内 第 52 回燃焼シンポジウム事務局
※御質問等は第 52 回燃焼シンポジウム事務局までお寄せ下さい。

(TEL : 086-251-8049 FAX : 086-251-8266

E-mail : sympo52@combustionsociety.jp)

9. 原稿の返却

提出していただいた原稿は、原則として返却いたしません。